



おおだふれあい会館だより

令和3年6月17日発行★



自分を大切に！人を大切に！

世界中にコロナウイルスが…。

1年以上たって、収束の兆しがなかなかみえません。

コロナウイルス感染症による、ハラスメント・差別が大きな問題になりました。

感染症に対する誹謗中傷、差別。さらにはその家族、医療従事者、接触者等々へと、心ない言動が空気のように広がっていきました。

「感染したくない」その気持ちは、誰もが一緒です。

ただ、その次の言動に大きな差が生まれました。

感染された方などを、責める。攻撃する。

感染された方などを、元気づける。支える。

あなたは…

自分を大切に！これは、当たり前のことです。

自分を大切にできる人は、何かあった時にそれを、

「自分のこと」として思いを巡らすことができる人かもしれません。

「大丈夫だよ。早く元気になってね。」

「ウイルスに負けるな！私がそばにいるよ。」

「気にしないで。あなたのせいじゃないよ。」

「困ったことがあったら、何でも言ってよ。一緒に頑張ろう。」



自分を大切に！人を大切に！

館長 石橋 義正

みんなでひろげよう！

シトラスリボンプロジェクト



コロナ禍で生まれた差別、偏見を耳にした愛媛の有志が作ったプロジェクトです。

「ただいま」「おかえり」の気持ちを表す活動を広めています。

リボンの3つの輪は

「地域」「家庭」

「職場・学校」

を表現しています。



- ・館長 石橋 義正
- ・指導職員 中島 シゲ子
- ・指導職員 石飛 典子
- ・事務職員 小川 琴美
- ・事務職員 奥野 佐和子



“やさしさ”がひろがる (やさしさの連鎖)

③たくさんの人とつながって、支えあうことでこころもからだも、みんなが元気になる



第1の“顔”
「健康」

①こころもからだも元気であるために自分のことも、周りの人のことも大切に思いやりの気持ちをもつ



第2の“顔”
「安心」


②ひとりにならないで、いろんな人とつながる



第3の“顔”
「共生」

“やさしさ”をひろげてつなぐ

全国社会福祉教育推進委員会「あなたのまちでやさしさをひろげるために」より



つなげよう
「やさしさ・おもいやり」
から広がる笑顔

大田J.O.いんっ♪ × 大田市 コロナハラスメント予防プロジェクト

現在、更なる新型コロナウイルス感染症拡大により、連日島根県でも新型コロナウイルス感染症が確認されるようになりました。大田市でも4月に初の感染者が確認され、身近なものとなってきました。

そんな中、山陰中央新聞明窓（2021.05.13）に、もしあなたが感染したら、どんな声かけをもらおうとうれしいだらあ？

島根県海士町でこんな言葉を記したチラシが新聞に折り込まれ、これを見た同町の方が「こんな草の根的呼び掛けのある限り、海士町は決してコロナに負けないと思った。」というエピソードが書かれているものでした。

新型ウイルスという目に見えない恐怖から、必要以上に人との距離をとり、時には差別へと発展し社会問題となっている中、とても心温まる記事に心が和み、こんな緊急事態だからこそ、お互いを思いやり、支え合うことで人との繋がりを生み出し、地域全体が元気に健康になるように思えました。

幸い、皆様の徹底した感染予防により、大田市での新型コロナウイルス感染症の広がりには抑えられております。引き続き、徹底した感染予防とソーシャルディスタンスを保ちつつ、心の距離は密にし、こんな時だからこそ、明るく元気な大田市であって欲しいと願っております。

